

事務事業名 橋梁長寿命化促進事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：1721

施策：	23	交通環境の総合的な整備と充実	財務コード	01070102-06-414
基本事業：	02	道路の維持管理	担当部	建設部
基本事業の 成果指標	道路管理上の瑕疵による事故件数 道路橋健全率		担当課	土木課
			担当係	土木整備担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成25年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
道路橋			法定の定期点検を実施し、健全度評価を行う 健全度評価と、社会的影響度等により、橋梁長寿命化修繕計画を作成し、計画的に補修を行う						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
適正な維持管理により施設の長寿命化を図る									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
当年度補修対象橋梁実施割合		%	100	100	100	100			100
5. コスト									
事業費		計	千円	11,786	26,902	34,358	100,310		
		国	千円	2,750	3,795	6,325	40,205		
		県	千円	0		0	0		
		地方債	千円	0		0	0		
		その他	千円	0		14,016	0		
一般	千円	9,036	23,107	14,017	60,105				
正職員人工数		人工	0.7	0.5	0.4				
正職員人件費		千円	5,471	4,012	3,352				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	17,257	30,914	37,710	100,310			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		高齢化が進んでいる橋梁は多数あるため、点検に基づき、劣化の程度や破損時の社会的影響度を精査し実施していきたい。 令和6年度は、個別施設計画に基づき、橋梁点検及び橋梁修繕を実施した。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	あり						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持 見直し 廃止 事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
位置や、使用状況により、撤去し集約することも検討していきたい。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
現在管理している橋梁は、高度経済成長期以降に集中して建設されており、今後急速に高齢化することになる。また、永久構造物ではないため、補修等を必要とする橋梁の増加が予想される			着実な実行を図る必要がある						